

とうり さと

桃李の里

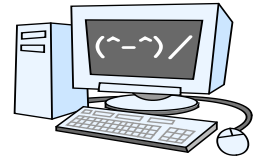
福島市立中野小学校 学校だより

令和3年7月9日発行 (No.11)

文責：校長 白土 勲



ふくしまっ子未来トーク



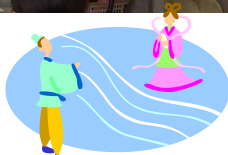
7月7日(水)福島市内の6年生が参加し「令和3年度ふくしまっ子未来トーク」が開催されました。これまで「福島市子ども議会」として、各小学校の代表児童が議会形式で市長さんとまちづくりについて話し合ってきましたが、今年度は、オンラインで福島未来を語り合い、市政について理解を深めることを目的として開催されました。本校からは、渡辺晴子さんが代表に選ばれました。市内6名の代表に選ばれたことは、大変名誉ある事だと思います。

晴子さんは、「SDGsを多くの市民に知ってもらうことの大切さ」について、市長さんに提案しました。市長さんからは、SDGsについて調べていることのすごさをほめていただくとともに、『共に「SDGs未来都市ふくしま」をつくっていきましょう。』という力強いお言葉をいただきました。

福島市内の6年生全員の前で堂々と自分の意見を発表する晴子さんの姿に、中野小学校の5・6年生は多くのことを学ぶことができたと思います。

子どもたちには全校集会の中で、自分なりの目標に向かって努力することで、人の役に立ったり、人から認められたり、自分がどんどん高まったりしていくことを話しました。

中野小学校の子どもたちが活躍している姿は、心の底からうれしいものです。



七夕集会



実行委員会が中心となり、「七夕集会」が実施されました。自分の願い事を全員が発表したり、七夕にまつわるお話を読み聞かせしてくれたりしました。一人ひとりの願いを確認することができました。実行員会のみなさん、楽しい時間をありがとうございました。

